

令和 年度分収支内訳書(農業所得用)

〔あなたの本年分の農業所得の金額の計算内容をこの表に記載して申告書に添付してください。〕

住所		業種名		依頼 税理士 等	事務所 所在地	
		農園名			氏名 (名称)	
フリカ、ナ氏名		電話番号			電話番号	
		整理番号				

令和 年 月 日

(自 月 日 至 月 日)

科 目		金 額 (円)
収入金額	販売金額①	
	家事消費金額②	
	事業消費金額③	
	雑収入④	
	小計④	
	(①+②+③)	
	農産物の期首⑤	
棚卸高期末⑥		
	計⑦	
(④-⑤+⑥)		
経費	雇人費⑧	
	小作料・賃借料⑨	
	減価償却費⑩	
	貸倒金⑪	
	利子割引料⑫	
	租税公課イ	
その他	種苗費ロ	
	素畜費ハ	
	肥料費ニ	
	飼料費ホ	
経費	農具費ヘ	
	農薬費ト	
	衛生費チ	

科 目		金 額 (円)
その他	修繕費リ	
	動力光熱費ヌ	
	作業用衣料費ル	
	農業共済掛金ヲ	
	荷造運賃手数料ワ	
	土地改良費カ	
		ヨ
		タ
		レ
		ソ
経費	雑費ツ	
	農産物以外の棚卸高	期首ネ
		期末ナ
	経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	ラ
	小計⑬	(イ～ネまでの計-ナ-ラ)
経費計⑭	(⑧～⑫までの計+⑬)	
専従者控除前の所得金額	(⑦ - ⑭)	⑮
専従者控除		⑯
所得金額	(⑮ - ⑯)	⑰
⑰のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額		

○雇人費の内訳

氏名・住所又は作業名	日数 延日	現 金 物	合 計	源泉徴収税額
		円		
その他(人分)				
計			⑧	

○小作料・賃借料の内訳

支払先の住所・氏名	小作料、賃借料等の別	面積・数量 a・kg	支払額 円

○事業専従者の氏名等

氏 名 (年齢)	続 柄	従事月数 月	金 額 円
(歳)			
(歳)			
(歳)			
(歳)			
		延べ従事月数	

◎ 必ず2ページも提出してください。

○収入金額の明細

農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数) a	販売金額 円	家事消費額 円	農産物の棚卸高				農産物等の種類品名等	作付面積 (飼育頭羽数) m	販売金額 円	家事消費額 円	農産物の棚卸高			
				期首		期末						期首		期末	
				数量	金額	数量	金額					数量	金額	数量	金額
田				kg	円	kg	円	特殊施設				kg	円	kg	円
								B 小計							
								農産物計 (A+B)	耕作面積 a				⑤		⑥
畑								畜産物その他	頭羽						
								C 小計							
A 小計								合計 (A+B+C)		①	②				③
												雑収入の内訳		区分	金額
															円
														合計	③

○減価償却費の計算 ※新しく購入された方は、購入価格が分かる領収書等の添付をしてください。

減価償却資産の名称等 (繰延資産を含む)	面積 又は 数量	取得 (成熟) 年月	イ 取得価格 (償却保証額) 円	ロ 償却の基礎 になる金額 円	償却 方法	耐用 年数	ハ 償却率 又は 改定償却率	ニ 本年中の 償却 期間	ホ 本年分の 普通償却費 (ロ×ハ×ニ)	ヘ 特別償却 費 円	ト 本年分の 償却費合計 (ホ+ヘ)	チ 事業専 用割合 %	リ 本年分の必要 費算入額 (ト×チ) 円	ヌ 未償却残高 (期末残高) 円	摘要
		年 月	()			年		12							
		・ ()						12							
		・ ()						12							
		・ ()						12							
		・ ()						12							
		・ ()						12							
計								12					⑩		

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみイ欄のカッコ内に償却保証額を記入します。

○果樹・牛馬等の育成費用の計算 (販売用の牛馬、受託した牛馬は除きます。)

果樹・牛馬等の名称	取得・生産 ・定植等 の年月日	イ 前年から の繰越額 円	育成費用の明細				ト 本年中に成 熟したもの の取得価格 円	チ 翌年への 繰越額 (イ+ヘ-ト) 円	ロ、ハ、ホの 欄の金額の 計算方法
			ロ 本年中の 種苗費、種付 料、素畜費 円	ハ 本年中の 肥料、農薬等 の投下費用 円	ニ 小計 (ロ+ハ) 円	ホ 育成中の果 樹等から生じ た収入金額 円			
計					ラ				

◎本年における特殊事情

--